

## 企業版ふるさと納税の効果検証について

## 1 制度の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生に関する取組に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

地方版総合戦略を策定した地方公共団体が、それをもとに地域再生計画を作成し、国に認定されれば、当該地域再生計画事業に対する企業からの寄附について、法人住民税、法人税、法人事業税が税額控除（寄附額の最大9割が軽減）されます。ただし、本社が所在する地方公共団体への寄附や、10万円未満の寄附については制度の対象外となります。

また、地方創生推進交付金の対象事業に200万円以上又は事業費の1割以上の企業版ふるさと納税を活用した寄附を充当する場合、横展開タイプの事業期間（3年間）を先駆タイプと同様に5年間まで認めるインセンティブが付与されます。

## 2 竹田市における企業版ふるさと納税に係る地域再生計画の認定

本市では、総合戦略と同一の事業を制度適用対象事業として、令和2年7月3日に「第2期竹田市地方創生TOP総合戦略推進計画の認定を受けました。この計画は、本市の総合戦略の全事業が反映されているため、あらゆる施策において広く活用可能となっています。

## 3 寄附の状況

令和2年度実績：3事業に895万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	定住促進のための住環境整備事業	5	1,950,000円
2	久住高原の景観や自然環境の保全・活用事業	1	5,000,000円
3	国指定史跡旧竹田荘リニューアル事業	1	2,000,000円
	計	7	8,950,000円

令和3年度実績：8事業に1,280万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	稲葉ダム Think and Act Projects	1	1,000,000円
2	日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト	1	1,000,000円
3	都市公園整備プロジェクト	1	1,000,000円
4	～竹田とつながる～関係人口・関係企業創出プロジェクト	2	1,300,000円
5	防災×デジタル推進プロジェクト	1	1,000,000円

No	事業名	件数	寄附総額
6	守り、紡ぐ。大自然が育む景観と農資源の活用プロジェクト	1	5,000,000 円
7	農林業サポート人材バンクプロジェクト	1	500,000 円
8	祖母山麓エリア再生プロジェクト	5	2,000,000 円
	計	13	12,800,000 円

令和4年度実績：8事業に445万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	市道の広域保全プロジェクト	3	1,400,000 円
2	～竹田とつながる～関係人口・関係企業創出プロジェクト	1	100,000 円
3	伝統芸能『竹田薪能』継承プロジェクト	1	500,000 円
4	日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト	1	100,000 円
5	稲葉ダム Think and Act Projects	1	1,000,000 円
6	定住促進のための住環境整備プロジェクト	1	300,000 円
7	たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト	1	100,000 円
8	交通安全対策プロジェクト	1	950,000 円
	計	10	4,450,000 円

#### 4 認定計画のK P I（重要業績評価指標）の達成状況について

認定計画のK P Iの達成状況については、資料1に記載のとおりです。

#### 5 事業の評価

令和4年度は、寄附募集事業の拡充、紹介パンフレットの作成やポータルサイトのリニューアル、職員向け説明会の実施等に取り組み、10社より合計4,450千円（昨年度比34%）の寄附を受領しました。昨年度からの継続寄附も2社ありました。新規事業を含む8事業へ充当し、総合戦略に位置付けられた地方創生事業の推進に寄与することができました。

また、寄附企業の中には、企業の地域貢献として環境整備事業、教育支援事業や人材サポート事業を開始しています。このように、寄附をきっかけとして企業と竹田市で共に地域課題に取り組む体制を構築した例も見られました。

## 6 今後の取組方向について

竹田市地方創生推進会議、金融アドバイザー合同検証会議等での効果検証の結果を踏まえて、一層の活用促進を図ります。

引き続き、企業にとって魅力的な事業を構築するとともに、竹田にゆかりのある企業を中心に企業版ふるさと納税の周知・募集に取り組みます。また、令和4年度の寄附企業からも継続していただくことができるよう、活用実績の報告など丁寧なアフターフォローに努めます。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

1. 市道の広域保全プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
道路維持補修事業	建設課	1. (2) 3 地域防災機能の強化	1,400,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	<p>総面積477.53平方キロメートルの広大な面積を有する竹田市には、高齢化・過疎化が進んだ小規模自治会が多く、道路の除草や清掃（側溝土砂の除去など）の管理が行き届かないエリアが多く存在する。本事業では、こうしたエリアの道路の保全を行うことで、安心安全な通行を確保するとともに、雨水排水の機能維持に取り組んだ。</p>	<p>②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。</p>	<p>【事業の効果】 人口減少により担い手不足に悩む自治会等が行う市道除草作業に補助し、環境整備に役立った。</p> <p>【事業の推進】 今後も自治会等の除草作業活動を積極的に助成し地域の環境美化活動に寄与したい。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】 寄付により、人的不足を補う等、自治会活動の一助を担った。</p>



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

2. ～竹田とつながる～関係人口・関係企業創出プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
企業版ふるさと納税のパンフレット制作事業	総合政策課	3. (3) 2 様々な媒体による情報発信の強化	100,000円	移住施策を活用した移住者数  Uターンで転入した人数	0世帯  1世帯2人	100世帯  50人	令和6年度	48世帯  22世帯39人	竹田のファンを増やし、竹田市への新たなひとの流れを創出するため、ふるさと納税の推進も含め、竹田市の魅力を盛り込んだ「企業版ふるさと納税のパンフレット」を制作し発信した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	<p>【事業の効果】</p> <p>パンフレット制作により10社から寄付を受領することができた。また、竹田市の魅力をPRすることができた。</p> <p>【事業の推進】</p> <p>竹田市のプロジェクトに寄付金が活用ができるよう、竹田市の魅力を広めるため情報発信を行い、竹田ファンを増やし、竹田市への新たなひとの流れを創出していく。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】</p> <p>寄付により、パンフレット制作ができた。</p>



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

3. 伝統芸能『竹田薪能』継承プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
伝統芸能『竹田薪能』継承事業のための財源確保	商工観光課	1. (2) 2 地域の歴史・文化、自然環境や景観などの「地域資源」の保全活動の支援による地域力の向上	500,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	竹田市において、400年前岡藩主のために行われていた能楽。藩主中川久通が彫り込んだと伝えられる三日月岩前に設置された“水上能舞台”と水面に映る三日月が描き出す幻想的世界「竹田薪能」の開催を通して、能楽の文化継承を行う事業である。“水上能舞台”を今後継続するためには、自立した運営が必要なことから関係機関と連携をしながらプロジェクトを立ち上げた。寄付においては、基金へ充当し、次年度以降活用する。	③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。	【事業の効果】 基金へ充当し、次年度以降活用する。  【事業の推進】 次年度の開催を目指し取り組んでいきたい。  【寄付を受けたことによる効果】 基金への充当により、次年度開催への財源確保ができた。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

4. 日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
岡城跡管理事業費	まちづくり文化財課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	100,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	岡城跡の魅力である「石垣の美しさ」を多くの方に見ていただけるよう、平成27年度から城跡を覆う竹や雑木の伐採整備を継続的に実施している。R4年度は古大手門跡南側、清水谷西側にて伐採を実施、これにより本丸跡など城の中心部からの景観が整備されつつある。この他、これまでに伐採した箇所の再伐採、高石垣の除草作業、日常的な草刈作業等を実施した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	<p>【事業の効果】</p> <p>竹田市のシンボルである岡城跡が持つ本質的価値を見ることができ、岡城跡の保存整備に加え、観光振興やシビックプライドの醸成につながった。</p> <p>【事業の推進】</p> <p>今後も地域団体・住民や企業様と連携した清掃活動・伐採活動により、石垣の見える化を進め、史跡の本質的価値を保全し、後世に伝えていきたい。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】</p> <p>寄附により、当該年度の伐採範囲を広げることができ、過去に伐採した箇所のメンテナンス等も実施できた。</p>



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

5. 稲葉ダムThink and Act Projects

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
稲葉ダム周辺の『環境整備』、ダムや自然エネルギーに関する『教育支援』、環境整備や教育に係る『人材サポート』	建設課	1. (2) 2 地域の歴史・文化、自然環境や景観などの「地域資源」の保全活動の支援による地域力の向上	1,000,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	宮城しだれ桜の里の取り組みをはじめ、悠然の里の景観保全、竹田中学校地域学（ダム見学）など、稲葉ダム周辺地域の特性を活かした地域振興・地域コミュニティ活動を実施した。寄附金を『環境整備』のための自動草刈り機（1台）の導入費用に充当し、今後も継続的に行われる作業の効率化を図った。	①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。	<p>【事業の効果】 地域資源の保全・活用に取り組み、地域活力の向上に寄与した。</p> <p>【事業の推進】 今後も稲葉ダム周辺地域の自地域資源の保全活動支援や、教育支援、人材サポート等の取り組みを通して、稲葉ダム周辺地域一体となった交流圏の形成と地域活性化を図っていきたい。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】 寄附により、自動草刈り機を購入。草刈りが効率化し、地域住民の作業負担軽減につながった。</p>



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

6. 定住促進のための住環境整備プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
竹田市定住促進住宅取得事業補助金（若者の竹田市内への定住促進）	総合政策課	3. (1) 2 定住促進のための住環境整備	300,000円	移住施策を活用した移住者数  Uターンで転入した人数	0世帯  1世帯2人	100世帯  50人	令和6年度	48世帯  22世帯39人	「ここで暮らしたい」という願いを叶え、次世代につなげていくため、移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進を行った。 竹田市定住促進住宅取得事業補助金（若者の竹田市内への定住促進）事業を実施した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	【事業の効果】 本市への移住推進のため、住環境整備など定住促進に寄与した。  【事業の推進】 今後も移住者等が安心して定住ができるよう情報発信やサポート体制を強化、住環境整備事業を行い、移住定住の推進を図っていく。  【寄付を受けたことによる効果】 寄付により住環境整備をする経費の負担軽減につながった。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

7. たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
竹田市誘客支援事業費補助金（第23回たけた竹灯籠竹楽）	商工観光課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	100,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	竹田市的一大イベント「竹楽」。最初は3,000本の竹灯籠から始まった。今では約2万本の竹灯籠が城下町一円に立ち並び、竹田の夜を彩る。竹楽をはじめとする竹活用を通して、竹林の荒廃改善による里山保全と地域経済の活性化への取り組みに対し一部補助をした。竹田市のシティプロモーションへも繋がった。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	<p>【事業の効果】</p> <p>3年ぶりの通常開催となり、県内外より多くの観光客が訪れ、来客数は過去最高の124,000人であった。このことから、竹田市への誘客と地域経済の活性化が図られた。また、伐竹等の取組みへの支援により、里山の保全に貢献できた。</p> <p>【事業の推進】</p> <p>今後も竹林の荒廃改善による里山保全と地域経済の活性化への取り組みに対し支援を継続していきたい。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】</p> <p>寄附により、竹田市への誘客が図られ、また里山保全への支援ができた。</p>



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

8. 交通安全対策プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額（円）	数値目標					実績結果（令和4年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R4）			
カーブミラー・ガードレール設置事業	建設課	1. (3) 1 広域交通ネットワークの推進	950,000円	1. (3) 1 広域交通ネットワークの推進	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	交通事故を防止し、安全・円滑な道路交通を確保するため、カーブミラー・ガードレール等を市道の必要な箇所へ新設した。	<p>②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。</p> <p>【事業の効果】 カーブミラー、ガードレールの設置により交通の安全と円滑の確保が図られた。</p> <p>【事業の推進】 地元の要望を集約し現地調査を行い緊急性のある箇所について随時事業実施していく。</p> <p>【寄付を受けたことによる効果】 寄付により交通の安全な環境整備をする経費の負担軽減につながった。</p>	



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。